

地方公共団体	京都府亀岡市
所在地	京都府亀岡市安町野々神8番地
地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿	環境を軸とした地方創生SDGsの実現による、地域ブランドの確立とシビックプライドの創造
地域の現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シビックプライド、地域ブランドが弱い 人口の流出(年間400人)や高齢化(29%)が進む中で、ヒトを惹きつけるシビックプライドの醸成、地域資源の付加価値を高める地域ブランドの確立が急務</li> <li>・地域経済循環率(71%)、住民所得(413万円)が低い 昼間人口が少なく(昼夜間人口比率85%)、産業集積が進んでいない。民間投資や消費が流出する結果、域内資本が域内生産に還元されない</li> </ul>
地域が持つ資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大都市の近郊に位置する交通アクセスの要所</li> <li>・豊かな自然環境</li> <li>・三大観光(保津川下り、トロッコ列車、湯の花温泉)</li> <li>・亀岡ふるさとエナジー(株)(地域新電力)</li> <li>・かめおか霧の芸術祭(アーティストとの繋がり)</li> <li>・京都スタジアム(京都サンガ本拠地)</li> </ul>
取組内容	環境を軸とした地方創生SDGs実現のため、「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」において目標として掲げた資源循環型の社会像の実現を目指す。ごみを捨てない大人に育てる環境学習、廃棄パラシュートからエコバッグを再生する「KAMEOKA FLY BAG Project」、3Rの徹底といった取組みを企業・市民・行政連携で進めるとともに、CO2の発生抑制やエネルギー代金流出の抑制といった観点から、近隣市町との協働も視野に入れたエネルギーの地産地消を実現する地域内での循環型社会の構築を目指す。
地域循環共生圏を 実践することで想定 される効果	<p>(環境)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使い捨てプラスチックごみ等、ごみの減量による環境負荷の軽減</li> <li>・再資源化、エネルギーの地産地消等による資源循環</li> <li>・普及、啓発事業による市民の環境意識の向上</li> </ul> <p>(経済)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの減量による市財政負担の軽減</li> <li>・地域経済循環率、住民所得の向上</li> <li>・環境に関する新規事業の創出、企業誘致</li> </ul> <p>(社会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ブランドの確立による移住定住、交流人口の増加</li> <li>・シビックプライドの創出によるまちづくりへの参加</li> </ul>